



● 草の根パートナー型

平成19年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	ラオス
2. 事業名	生き生き健康村づくりプロジェクト
3. 事業の背景と必要性	NPO法人ISAPHは、カムアン県セバンファイ郡のカンペータイ、カシ、シーブンファン地区において、2006年5月より郡保健局など保健要員をカウンターパートとし、コミュニティーを対象とした母子保健活動を展開している。その活動地域内であるシーブンファン地区で乳児死亡が多発していたが、各種調査及び活動を通して、母親と乳児の不適切な栄養摂取と住民の不衛生な生活習慣が乳児死亡に大きな影響を与えていることが指摘された。健康の維持・増進は、適切な栄養摂取と衛生的な生活が基本であり、それらの改善により、母子の健康が増進し、ひいては住民全体の健康にも裨益する。シーブンファン地区の特徴は、他地区と比べて貧困層が多く、教育レベルも低いことである。また、水の少ない環境で生活しているため、衛生状況も悪い。カムアン県内で、最も乳児死亡が多い地域の一つであり、栄養・衛生面で多くの課題を抱えた当該地区の住民の健康状態を改善することは、カムアン県全体の健康状況の改善に大きく貢献できると思われ、当該地区を対象に、栄養と衛生面の生活習慣の改善による住民、特に乳幼児の健康増進を図るプロジェクトを計画した。対象を最も劣悪な地域に絞り込み、選択と集中にもとづき、最優先課題である栄養問題に活動の焦点を絞り、効果的かつ効率的なプロジェクトの実施を狙ったものである。さらに、将来他の地域への普及を視野に入れ、栄養・衛生教育手法、教材なども含めて活動をパッケージ化し、よりシステムティックな実施体制を戦略的に推進することも目指している。
4. 事業の目的	当事業によりセバンファイ郡の母子を中心とした住民の健康が改善される。
5. 対象地域	セバンファイ郡シーブンファン地区
6. 受益者層	母子を中心とした住民
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母親の栄養摂取状況が改善される。 2. 完全母乳栄養率が増加する。 3. 乳幼児の栄養摂取状況が改善される。 4. 水に関する住民の衛生行動（飲料及び保清）が改善される。 <p>上記4つの成果達成のため対象地域の郡保健局とともに栄養、衛生教育を行う。</p>
8. 実施期間	2009年1月～2011年12月まで（3年）
9. 事業費	17,115千円（予定）
10. 事業の実施体制	<p>実施における管理監督は、ISAPH事務局が行い、現地での実施はISAPHラオス事務所が行う。活動上の主体となるカウンターパート機関は、セバンファイ郡保健局で、カムアン県保健局がその指導監督を請け負う。ISAPHは、郡保健局職員に対し包括的な技術協力を行い、プロジェクト推進に必要なベースラインサーベイの実施、活動計画作成、教材作成などの基本的な能力育成に努めると共に、各活動のモニタリング及び評価を通じて、プロジェクト管理能力を向上させ、目標達成に努める。</p> <p>また、今回シーブンファン地区で取り組む課題は、ISAPHの他の活動地区を含め、それ以外の地域においても共通した課題である。ISAPHは、プロジェクト終了後も同セバンファイ郡において保健活動を継続する方針であり、カウンターパートとなる郡保健局職員が、上位目標の達成を目指し、同郡内の他地区に当該プロジェクトの成果を普及していくための総合的な支援を行う方針である。</p> <p>なお、日本側の支援体制としては、ISAPHと提携関係にある聖マリア病院、財団法人九州産業衛生協会、東京女子医科大学国際環境・熱帯医学教室などがあり、それぞれの専門分野から専門家の派遣並びに技術的な支援を受ける予定である。</p>
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人アイサップ (ISAPH : International Support and Partnership for Health)
2. 活動内容	パートナー（協調）と支援による保健医療の向上を目指して、アジア及びアフリカで活動している。具体的な活動は住民参加型の地域保健の向上支援、災害緊急医療支援、保健人材育成支援である。